

「運動」と「食品摂取」による健康増進と障がい予防



氏 名 丸岡 弘 教授

所 属 理学療法学科

U R L <https://www.spu.ac.jp/academics/db/tabid334.html?pdid=162maru>

研究分野 運動、食品摂取、内部疾患、酸化ストレス、生理機能検査

キーワード 運動、食品摂取、内部疾患、酸化ストレス、生理機能検査

研究シーズの概要

酸化ストレスや生理機能などのヒトや小動物を対象にした基礎系、臨床系の研究を行っています。主な研究テーマは、以下の通りです。

1. COPD（慢性閉塞性肺疾患）筋萎縮モデルマウスにおける肺組織や炎症から見た運動や電気刺激、薬剤摂取による効果
2. 電子タバコによる肺組織や炎症への影響
3. 廃用性筋萎縮における筋タンパク質から見た運動やサプリメント摂取の影響
4. 虚血モデルマウスにおける血管新生や酸化ストレスから見た運動やビタミンC摂取の影響
5. サプリメント摂取が体脂肪と脂質コントロールへおよぼす影響

共同研究のご提案

内部疾患（慢性閉塞性肺疾患などの呼吸器・動脈閉塞などの循環器・廃用などの障害モデル）に対して、病態や介入効果などに関して、生理学・分子生物学・組織学などによる共同研究が可能です。主な共同研究の実績は、以下の通りです。

1. 食品摂取と運動が酸化ストレス防御系や老化におよぼす影響
2. サプリメント摂取が体脂肪と脂質コントロールへおよぼす影響
3. ビタミンCが欠乏したノックアウトマウスにおける酸化ストレス防御系の検討

受託研究のご提案

生理機能などのヒトを対象とした臨床系研究が可能です。主な、受託研究の実績は、以下の通りです。

1. 高濃度酸素吸入による生体酸化ストレス度への影響の検討
2. 高気圧・高濃度酸素暴露が生体に与える影響
3. 簡易リンパドレナージの施術前後に採取した検体の測定・検査・分析

特定講座のご提案

内部疾患系に対する運動などによる障がい予防、サプリメントによる生体への影響などの特定講座が可能です。主な、特定講座の実績は、以下の通りです。

1. 運動と食品摂取による健康増進と障がい予防
2. 内部疾患系における酸化ストレスの有用性

アピールポイント

健康増進と障がい予防に関して、共同研究や受託研究、特定講座の実績があります。